



「感謝祭4つの賞」

スイッチON!! だんだん街も活気づいてきました!しかし、まだまだ第六波もくると予想されております。引き続き感染予防対策、自己防衛どうぞよろしくお願い致します!!!コロナ感染ゼロは本当に意識の高い組織集団だと嬉しく思います!ありがとうございます!!

さて、改めて介護の日11月11日!千歳会感謝祭に協力いただきありがとうございました!
初めての試みでもありましたが、オンラインでの開催とともに、各施設と一つになることの意義や重要性に、今後のオンラインでの幅広い活用方法や可能性が広がる時間でもありました。
施設の中の雰囲気や笑顔ある時間が、ご家族や協力業者様、地域の皆様に伝わった時間でした。
今後も感謝祭を開催し続ける勇気と確信をいただけた時間でした。
そして何より、たくさんのエントリーがあったからこそ成功したのも嬉しかったです!!
来年はより多くのエントリーを望むとともに、より一層お祭り感を出していきながら、今回以上のエントリー内容に進化していければ嬉しいです。
そこで、今回の賞のスタートのきっかけを書いてみます。

お客様賞では
「さんまのからくりテレビ」みたいにご長寿の方々のキャラができればなあ~とか考えて、そこに感謝を重ねてみたときに、おめでとう長生きしてくれてありがとう!という気持ちで祝福の企画になりました。サプライズに家族出演があれば、本人もまだまだ頑張ろう!と思ってくれたら最幸!!と。

施設賞では、
各施設の理念がビジュアル化できればと考えました。普段からの言葉が映像になり、より自分たちの強みが見えれば、一石二鳥。今後のリクルートにも活用できると思いました。また、これをきっかけに名物社員やヒーローヒロインができればなあ~と。

フォトコンテストでは、
以前、日本一の色紙を書いていたあなたの想いを、写真にしてみたときにあなたがどんな一枚をかざるのかなあ~と、考えてみました。そこに法人の理念である「一人一人の人生を豊かに」という想いを重ねたときに、自ら心が幸せになる瞬間を表現してもらいたいという考えで、コンテスト形式にしました。大切にしたい一枚です。それが心の支えになり困難、障害を乗り越えるお守りであると。

個人賞は、
一人ひとりの価値を皆が認め合いながら、初心を思い出してもらいたい。そして、その大切なエピソードを沢山のひとと共有して、もっともっとそのきっかけに感謝してもらいたい。という想いでした。

自分自身が感動の繰り返しで、成長を重ねていきます。そのきっかけは十人十色ですが、共感していく心をみんなで育てるきっかけになればと。感受性微弱がアカン!と。

そして、賞にしたのは、みんなが参加した皆さんの想いを共有し、目に触れて心に触れて、こんな素晴らしい人達が介護業界を、会社を、仕事場を支えているのなんだなあ~と。気づいていただき、誇りをもっていただき、胸をはって、あなたに輝いてもらいたいという想いで、競い合いながら楽しみながら参加して見ていただきたいと。

なにより、僕からの感謝は、

共に仕事ができることに心から感謝!

社会福祉法人 千歳会
理事長 左 敬真 

